

廣井勇博士銅像を佐川町に建立

4月17日、「廣井勇を顕彰する会」(会長 岡村甫)は、廣井勇の銅像と寄付金の余剰金を佐川町へ贈呈した。銅像を建立したのは佐川文庫庫舎広場。銅像の斜め右前方には名教館がある。ここで廣井は8歳まで、同い年の牧野富太郎と共に学んでいる。

平成30年5月に顕彰する会を設立。廣井の功績や人となりをホームページやSNSで情報発信するとともに、土木系協会誌に廣井に関する記事を執筆、学校や企業で講演を行う等の顕彰活動を行ってきた。

1年の募金活動で、全国の企業・団体159者と個人878人から建設必要額の約1.5倍に当たる15,090,300円が寄せられた。このうち高知県測量設計業協会から50万円、協会会員会社から114万円の寄付があった。

銅像の制作は大野良一先生が担当してくださった。銅像の台座の正面には、「近代土木の礎を築いた清きエンジニア 廣井勇」、側面には「静かな別れ 君の工学は君自身を益せずして国家と社会と民衆を永久に益したのであります 旧友内村鑑三の追悼文より」の文字が刻まれている。

4月17日の除幕式には、高知県測量設計業協会から西川和正会長(顕彰する会理事)、右城猛副会長(顕彰する会副会長)、久保田明(顕彰する会幹事)の3名が出席した。



佐川文庫(旧青山文庫)庫舎広場に建立された廣井勇像



佐川町の堀見和道町長の挨拶



岡村会長より銅像・寄付余剰金を佐川町へ贈呈



顕彰する会の岡村甫会長による挨拶



関係者による除幕



四国クリエイト協会 福田昌史顧問による祝辞



顕彰する会の右城猛副会長による銅像建立経緯報告



衆議院議員山本有二先生の祝辞



顕彰する会の吉村文次副会長による閉会の挨拶



小雨の中での除幕式の様子



完成した廣井勇像(制作:大野良一、書:和泉蒼牛)